

社会資本整備総合交付金交付金 フォローアップ  
報告書

川口市各地区

平成31年3月

埼玉県川口市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み	理由				改善策の方向性		
1	今後も川口市に住み続けたいと回答した割合	%	84.1	89.1	83.3	確定 ● 見込み	×	あり ● なし	83.8	H29年9月	×	市民アンケート(市民意識調査)による 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	指標設定当初と比較し、市民ニーズや要望が情勢と共に変化していることから、数値は下降しているものの、交付金事業については、事業を進捗させ成果を上げている。	
2-1	良好な住環境の推進について満足・やや満足と回答した割合	%	50.8	55.8	55.8	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	指標に関連する事業を現行整備計画において継続実施中であることから、今後も値の上昇が見込まれる。	
2-2	魅力と活力を育む土地利用の推進について満足・やや満足と回答した割合	%	43.7	48.7	40.6	確定 ● 見込み	×	あり ● なし ●	43.3	H29年9月	×	市民アンケート(市民意識調査)による 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	市民と行政が協働によるまちづくりを進めるための指針として、都市計画基本方針を策定することができた。土地利用に関しては、連鎖移転が多く、地権者の仮換地案に対する意見調整もあり難航しているため、移転機運の発生しており、そのため整備が遅れている箇所があるが、指標に関連する事業を現行整備計画において継続実施中であることから、僅かながら値の上昇が見られ、将来的に効果が期待できる。	
2-3	総合的な交通基盤の充実について満足・やや満足と回答した割合	%	45.0	50.0	50.6	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	駅前広場の借り上げやコミュニティバスの運行により、市民の交通基盤に対する満足度が高まったことから、今後も値の上昇が見込まれる。	
2-4	下水道事業の推進について満足・やや満足と回答した割合	%	61.8	66.8	71.0	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	指標に関連する事業を現行整備計画において継続実施中であることから、今後も値の上昇が見込まれる。	
2-5	美しくおおいのある景観形成の推進について満足・やや満足と回答した割合	%	46.8	51.8	41.5	確定 ● 見込み	×	あり ● なし ●	44.5	H29年9月	×	市民アンケート(市民意識調査)による 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	景観形成基本計画、景観計画の改訂を行い、地域の特性に応じた景観計画の変更を進めることができた。また、シンボジウムの開催や、建築物等の表彰などを行い、良好な景観形成の推進に寄与することができたため、僅かながら値の上昇が見られる。	
2-6	豊かな水と緑に親しめる都市の創出について満足・やや満足と回答した割合	%	50.5	55.5	48.9	確定 ● 見込み	×	あり ● なし ●	51.8	H29年9月	×	市民アンケート(市民意識調査)による 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	指標に関連する事業を現行整備計画において継続実施中であることから、僅かながら値の上昇が見られる。	
3-4	街路整備の進捗率	用地取得面積/事業用地の面積	64.6	75.0	74.5	確定 ● 見込み ●	×	あり ● なし	75.6	H30年 3月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	地権者と粘り強く用地交渉した結果、目標を達成することができた。	
3-5	都市基盤が整備された良好な市街地の割合=Σ(対象地区面積×使用収益開始率)/Σ(対象地区面積)	%	21.0	27.0	26.7	確定 ● 見込み	×	あり ● なし ●	28.4	H30年3月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	一部地域において、移転補償等が難航しているが、大部分の地域では幹線道路や生活道路の整備の結果、水道・排水設備等のライフラインが整備された良好な宅地の割合が増加し、対象地区内の地区人口も順調に推移している。	
3-14	下水道処理人口普及率(全市)	%	84.6%	86.7%	86.5%	確定 ● 見込み	△	あり ● なし	86.8%	H30年4月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	下水道(汚水管)の整備を実施したことにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与した。	
3-15	戸塚南部地区内建築着工件数	件	1,485件	2,300件	2,417件	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	土地整理事業が進捗し、民間開発による住宅供給等が進められたことが直接的な要因であった。また、公園等の整備による地区の魅力向上も間接的な効果を及ぼしている。	
3-16	戸塚安行駅利用者数	人/日	5,800人	6,300人	6,893人	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	土地整理事業による市街化の促進や民間開発などの住宅供給が直接的な要因であった。またアクセス条件、交通安全性、歩行者快適性が向上したため、地区周辺の住民の利用も増加させたと考えられ、今なお増加傾向である。	
3-17	公園緑地面積の増加	ha	29.3	32.8	32.0	確定 ● 見込み ●	△	あり ● なし	33.5	H30年4月	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	平成30年4月に一部供用開始した赤山歴史自然公園の面積3.58haを加えたことで、目標を達成した。	
3-18	対象地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率	%	53.1%	56.4%	53.4%	確定 ● 見込み ●	△	あり ● なし ●	56.0%	H30年3月	△	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	区画整理事業の進捗により、交通網が整備されている。	
3-23	幅員4m未満の狭い道路を拡幅整備する割合(狭い道路拡幅整備率)=(狭い道路の拡幅整備延長)/(H28時点で目標とする狭い道路の拡幅整備延長 1,490m)	%	0	100.0	109.0	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	狭い道路が解消され、道路の安全性の確保が図られた。	
3-24	住宅の新規供給戸数(計画期間内の住宅整備戸数)	戸	25戸	240戸	109戸	確定 ● 見込み	×	あり ● なし ●	117戸	H30年3月	×	街路整備の用地確保が難航したため目標値を達成できなかった。 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	目標値は達成できなかったが、これからは着実に区画整理の進捗を図り、良好な宅地を提供していく。	
3-32	市内の市立高校とSKIPシティの連携による科学館等の利用時間	時間/年	5	10	10	確定 ● 見込み	●	あり ● なし	20	H30年 3月	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	科学館とサイエンスショーを行うなど、科学に関する興味、関心を高めるための連携を行った。	
3-33	SKIPシティから埼玉高速鉄道線鳩ヶ谷駅までの移動に係る所要時間	分	15	10	15	確定 ● 見込み ●	×	あり ● なし	8	H30年11月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	橋が新設されたことによる交通渋滞が想定よりも改善された。	
3-39	市営住宅ストック総合改善工事の実施率(ストック総合改善実施率)=(改善した工事数)/(昭和40年代以降建設の住宅で、平成28年度までに修繕周期を迎える工事数)(%)	%	0%	32.8%	37.9%	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	建物の老朽化に伴い、修繕周期を迎える工事も増えてきているが、財源と調整のもと計画的に行っていく。	
3-41	防災無線デジタル機器子局の整備	基	178基	214基	214基	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	防災無線デジタル機器子局の整備を行ったことにより、市民への災害情報の一斉伝達手段が多様化されるとともに、災害対策本部と避難所との災害情報の円滑な収集・伝達が可能となった。	
3-42	保全緑地の公有地化面積	m <sup>2</sup>	38,701	40,139	40,139	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	公有地事業を円滑に進め、恒久的な緑地が保全され公営住宅を含む市内居住者に良質で、安心・安全な居住環境に資することができた。	
3-47	市内の住居表示地区の割合	%	56.8	58.4	58.4	確定 ● 見込み	○	あり ● なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	前川町の住居表示整備を、遅滞なく実施。公共の福祉の増進に資することができた。	
3-48	赤山歴史自然公園整備事業の進捗に伴う計画目標値への貢献度(人口1人あたりの公園緑地面積)	m <sup>2</sup>	3.43	3.44	3.44	確定 ● 見込み ●	○	あり ● なし	3.44	H30年3月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	事業の進捗により目標の達成に貢献した。	
3-49	石神西立野・安行藤八地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率	%	35.7%	37.6%	36.6%	確定 ● 見込み	△	あり ● なし	37.8%	H30年3月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	幹線道路や生活道路の整備、また、駅へのアクセス道路の整備により、緊急車両の通行における安全性・利便性が改善され、地区人口も順調に推移している。	
3-50	石神西立野地区公共施設整備率	%	30.7%	32.7%	31.9%	確定 ● 見込み	△	あり ● なし	33.2%	H30年3月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	区画整理事業・公園整備事業の推進に伴い、公共施設整備面積の増加により、良質な住環境の整備が進んでいる。	
3-51	戸塚東部特定地区区画整理事業地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率	%	67.3	70.0	69.0	確定 ● 見込み	×	あり ● なし	70.8	H30年3月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	資金を効率的に道路整備に充てたことによる効果が現れている。	
3-52	戸塚東部特定地区区画整理事業地区公共施設整備率	%	53.6	56.4	55.7	確定 ● 見込み	×	あり ● なし	56.8	H30年3月	○	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	資金を効率的に道路整備に充てたことによる効果が現れている。	